

地球と未来を守れ！気候マーチで脱炭素社会を訴えよう！

学校法人誠心学園浜松開誠館中学校高等学校

【住所】〒430-0947 静岡県浜松市中区松城町 207-2 【TEL】053-456-7111
【URL】<https://www.kaiseikan.ed.jp/>

活動概要

緩和・適応分野

取組の概要

脱炭素社会・気候危機を訴える生徒主体の気候マーチを、オンラインも含めて計4回実施し、多くの人々に地球温暖化の深刻さを伝えてきた。地方都市において400人規模の気候マーチを行った例は他になく、Z世代の"NO! 地球温暖化"という痛烈なメッセージは浜松市民をはじめ、日本国民、世界中に拡散し、浜松市の若者会議の設置にもつながり、浜松市長へ提言書の手交や、小泉環境大臣(当時)とのオンライン会議を実施した。また気候マーチの他に再エネ100%を目指した企業との連携や、廃プラ促進のマイボトル活動など社会に対しても気候変動対策を普及している。

気候変動対策としての貢献度

気候変動対策は、大人でないとできない。という概念を壊した点大きい。欧米に比べ日本はZ世代と呼ばれる若者たちが気候危機に興味があるとは言えないなか、本校生徒の主体的取り組みは、"NO! 地球温暖化"という痛烈なメッセージとして多くの浜松市民をはじめ日本国民、また世界中に拡散した。マーチを主導した生徒たちは市長、市議会、県知事、そして環境大臣へ訴えかけ、提言書を提出した。

期待される波及効果

マイボトル運動や気候マーチなどの活動を、地方自治体や近隣学校と協力しながら実施するプラットフォーム(若者会議)を構築し、他校も巻き込んでいる。共同開催した他校の生徒、多様な媒体を通じて本校の活動を知った高校生中学生が各々取り組みを始めていく、もしくはパートナーシップを築き発展させていくことができる。SDGs部は既に他校や企業から共同プロジェクトのオファーを受けている。

刷新的要素

生徒から始まった気候マーチは教員、自治体を巻き込み、実践的な脱炭素社会・地球温暖化防止を訴える活動となっている。コロナ禍においてもオンラインで気候危機を訴える動画メッセージの配信や生徒デザインのマイボトルをSDGs部が作成・販売し、学校をあげて廃プラに取り組んでいる。古着をアップサイクルするワークショップの開催や食品ロスをテーマにしたエディブルスクールヤードにも取り組んでいる。

今後の計画、持続的な展開の展望

2019年に始まった気候マーチは生徒会やSDGs部に引き継がれ、オンライン気候マーチは引き継いだ生徒会長の呼びかけによるものであった。次期生徒会も活動を重視しており、生徒デザインのマイボトル運動もSDGs部が普及を行っている。学校としてもSDGs推進課、グローバル推進課が設けられ、組織的に生徒たちの主体的な行動をサポートする体制が整っている。SDGs部や生徒会を母体とし、活動により繋がった関係者とのパートナーシップより強固なものとし、より具体的で強力な発信、啓蒙活動を展開していく。



第1回開誠館気候マーチの様子



第2回開誠館気候マーチ 浜松城公園の様子